

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 広報等経費	
区分	番号	名称	
章	6	担いあうまちづくり	
節	1	協働のまちづくりの推進	
施策	3	協働のまちづくりを支える情報の公開と共有	
小分類	1	情報提供と広報広聴活動の充実	
主要な施策	2	広報広聴活動の推進	
事務事業番号	015	事務事業コード 61312015	事業開始年度 昭和 2 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度
会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名 広報広聴経費	
部 名	総務部	グループ名	政策推進室情報推進 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 市民や地域の声・ニーズを的確にとらえ、市政に反映させるよう努めるとともに、市政情報を総合的に提供することにより、市民参加のまちづくりを推進する。
手段(事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 【広報】市広報紙の発行(月1回)、新聞社やテレビ・ラジオなどマスコミを通じた市政情報の発信(随時) 市が取り組む事業やその予算額をお知らせする『市の仕事』の発行(年1回) 登別市内各種大会・行事一覧表の発行(年1回)、ホームページによる各種情報発信(随時) 災害対応型自動販売機搭載メッセージボードによる市政情報の発信(随時) 西いぶり生活情報メール配信システムの構築準備 など 【広聴】単位町内会を対象とした『地区課題(要望)』の把握(年1回) 地区連合町内会を対象とした『地区懇談会』の開催(各地区年1回) 各種団体などを対象とした『ふれあい懇談会』などの開催(随時) 市民が市長と直接会ってまちづくりについて意見を交わす『市長室フリータイム』の開催(年2回) 10人程度のグループなどを対象に市政情報を提供する『市職員出前フリートーク』の開催(随時) 日本工学院北海道専門学校学生と市長がまちづくりについて意見を交わす『春一の熱血・青春トーク』の開催(年1回) 市民からの要望・苦情などの受付(来庁、Eメール、手紙、電話、FAX、意見箱)など(随時) 【その他】市民見学会の開催(年2回) 二市合同施設見学会(年1回)
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 協働のまちづくりを目指し、市民に市政への参画や市内で開催される行事などへの参加に関する必要な情報を提供するとともに、市民や市民団体の課題や要望の声を聴き、市政に反映できるよう努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 登別市広報紙発行規則

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	全世帯に対する広報紙の発行割合	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	78.8				
	広聴活動件数	目標値	148	148	148	148	148
		実績値	249				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円	1,686	1,701	1,701	1,701	1,701	5,103
	一般財源 名称	千円	10,305	10,971	8,958	8,958	8,958	26,874
合 計			11,991	12,672	10,659	10,659	10,659	31,977
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	19,222	17,572			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		19,222	17,572			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市民生活に直結する情報の提供や市民の行政に対する意見の把握は重要な業務であり市が行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 広報紙を全世帯の80%程度の世帯に配布し市民に市政への参画などに必要な情報提供を行っている。広報モニターからも少しずつであるが見やすくなったとの意見も出ている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 広報紙は、主に町内会を通じて配布しているため、担当部局と連携しながら、未加入者の町内会加入促進の協力を求めている。 また、広報紙のホームページでの閲覧や公共施設への配置により、市民の利便性向上や報道機関の協力による情報発信の多様化を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 広報紙のページ削減は、市政情報を市民にわかりやすく伝える必要があることから難しい。 また、人工の削減については、掲載依頼締め切りから発行までの期間が短いいため難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	協働のまちづくりを進めるには、行政の広報広聴体制の整備を図り、市民と情報を共有することが不可欠である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）